

すべての子どもに、豊かな教育を保障するために

少人数数学級の拡大を

共産党・都議団が

東京都に迫る

3月 都議会



日本共産党都議団は3月14日、都議会予算特別委員会で、すべての子どもたちの豊かな教育を保障するため、少人数数学級の拡大をすすめるように都に迫りました。

東京都では、国制度で実施している小1、小2に加え、4月から、独自に中1で35人以下学級にふみだしました。

子どもと親の、生の声示し、実施求める

中学1年生の少人数数学級(37人学級)などで効果があった主な項目(教育委資料より)

| 改善項目 | 実施校 | 未実施校 |
|--------------------|-----|------|
| いじめの発生が減少 | 45% | 21% |
| 校内の暴力行為が減少 | 44% | 26% |
| 学級活動における話し合いの状況が改善 | 54% | 29% |
| 授業中の学習態度が改善 | 50% | 29% |
| 基礎・基本学力が定着 | 34% | 18% |
| 教員と保護者の連携が密に | 52% | 31% |

都が中1を35人学級にしたことは重要です。同時に、小3なども35人学級にとの声は切実です。都議団は、「人数がもつと少なかったら、目も行き届くしクラスも落ち着く」といういじめにあつた子どもの保護者や、「3年生になったらクラスの人数が1.5倍になるので心配している」という小学2年生の母親の声を示し、「お母さんたちの間では『小3ショック』という言葉まで生まれている」と実施を求めました。

都民とともに都政動かし始まった少人数数学級 全学年実施へ全力

いま、いじめや体罰など、子どもと教育をめぐる問題で、多くの人が心を痛めています。その解決へ、少人数数学級の実現が急がれています。

東京都は全国の都道府県で唯一、少人数数学級の実施を拒んできましたが、教職員や父母、共産党などの運動に押され、2010年度から現場の選択で小1・中1で少人数数学級などを実施できる制度を導入。都民の声が政治を動かしたのです。

いま安倍自民・公明政権は少人数数学級拡大を見送るなど許しがたい態度をとっています。それだけに、都民の世論がカギ。ぜひご一緒に声をあげ、全学年で実現させましょう。



前都議会議員(中野区)

植木こうじ

うえき こうじ



参院東京選挙区予定候補

吉良よし子

きら よしこ

子どもが輝く社会を

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2013年4月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

「しんぶん赤旗」や

「東京民報」をお読みください